

OSGS プログラムを起点に

鈴木 華

親善大使の活動報告



4月24日に、大宮市にある「埼玉県立歴史と民俗の博物館」に訪問しました。この博物館では、埼玉の歴史と民俗に関する展示を見たり、歴史を体感することができる体験をすることができます。約10年ぶりに訪れたのですが、小学生の頃とはまた違った視点で展示を見ることができ、非常に楽しかったです。展示解説のボランティアの方もおり、丁寧に展示の説明をさせていただきます。ボランティアの方々の説明により、展示についてより深く理解をすることができます。

また「ゆめ・体験ひろば」では、藍染の体験をしました。年齢問わず、楽しみながら学べる場所であると思うので、是非多くの人に足を運んでもらいたいです！



半年間ありがとうございました！

皆様こんにちは。埼玉県・オハイオ州グローバルスピーカープログラム後期メンバーの鈴木華です。1月からはじまったOSGSプログラムの課程も全て終わり、今回のレポートが最終レポートとなってしまいました。昨年の夏に、このプログラムを見つけ、意気込みながら応募したのが懐かしく思います。非常に名残惜しいですが、すっきりと本プログラムを締め括れるように精一杯レポートを書きますので、最後まで読んでいただくと嬉しいです！

さて、今回は4月から6月にかけて行った、親善大使の活動（埼玉県立歴史と民俗の博物館での藍染体験）・最終プレゼンテーション・埼玉県での成果報告会等をご紹介します。最後にプログラム全体について振り返ってきたいと思います。



親善大使の活動

振り返り

埼玉県親善大使に任命していた
だいてから、新しい経験をたくさ
んさせていただいてきました。

「ふじみの国際交流センター」や
「埼玉県立歴史と民俗の博物館」
への訪問、そしてフィンドレー大
学の学生に埼玉県の紹介をする

「Introductory Tour」など、この
OSGS プログラムに参加しなけれ
ばできなかったことばかりです。
これらの活動を通して、私は新し
く埼玉の魅力を3つ見つけたの
で、ご紹介します。

- ① 多くのボランティアの方が埼
玉を支えている！
- ② 埼玉県庁の職員の方は皆良い
人で、埼玉のために全力で働
いてくださっている！
- ③ 子供も大人も楽しみながら学
べる場所がたくさんある！

このようにあたたかい人がたくさ
んいて、魅力が詰まった埼玉県に
住むことができ、改めて幸せだ
なと気づくことができました。

これから OSGS プログラムに参加
する方も、親善大使としてどのよ
うな活動を行いたいのかイメージ
し、国際課の方にどんどん提案し
てみてください！きっと親身にな
って応えてくださります！

最終プレゼンテーションにて一区切り！

グレッグ先生の最後の授業は、アメリカの学生と日本の学
生の共同で行われた最終プレゼンテーションでした。テー
マは以下の通りで、これまでの授業を振り返ることのでき
るものでした。

Part 1: 5-min Presentation by the decade team (Please discuss your presentation with your partner beforehand. Everyone will speak.) - You may want to have one slide with bullet points for each decade team.

Q1. What are the commonalities between Japanese and American music scenes during your decade? Style, genre, the content of lyrics, (あなたの年代における日米の音楽シーンの共通点は何ですか)

Q2. What kind of cultural interactions did you see during your decade? Between Japan and the US? Between Japan and Asia? Between Japan and Latino culture? (あなたの年代では、どのような文化的交流がありましたか?)

Part 2: 3 min presentation by each student - no need to have PPT

What did you learn about Japanese and American culture and societies by focusing on music? (音楽に注目することで、日米の文化や社会について何を学びましたか?)

この発表の準備をするにあたり、私のパートナーのリアとこれまで学んだこと・気づいたことについて整理しながら話し合いました。“Decade (10 years) Project”というテーマで、音楽に焦点を当てて日本とアメリカの時代の変化を追ってきましたが、私もリアも口を揃えて「楽しみながら日米について知ることができたね」と話していました。これまで授業内外で、1990年代の日米の音楽について学んできましたが、音楽の歴史だけではなく社会や文化の変化・日米の違いまで知ることができました。音楽は社会を映し出す鏡です。今回の音楽を通した学びは、非常に有効であったので、これからも時代や国の枠を超えて音楽に関心を持ち続けたいと思います。皆様もぜひ、たくさんの音楽を聴いて、その音楽がどのように生まれたのか背景についても関心を抱いてみてください！

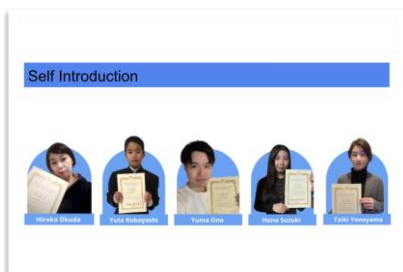
このような準備を経て行われた最終プレゼンテーションは、無事に成功しました。発表回数が増えるにつれて、リラックスすることができるようになっていったような気がします。悔いなく、授業を終えることができました。

英語で行われた

埼玉県での成果報告会

6月4日にオンラインにて、成果報告会が開催されました。プログラムが始まる前、OSGSプログラムの前期メンバーによる成果報告会には参加させていただいており、どのような雰囲気で行われるのかは把握していました。しかし、前期メンバーの皆様は堂々とわかりやすい英語で発表していらっしゃっていて、半年後に自分もこんなに堂々と発表できるようになっているのだろうかと心配でした。

半年間とは早いもので、あっという間に自分たちが成果発表を行う番になってしまいました。OSGSプログラムで自分たちが何を学び、どんな体験をすることができたのかを、どうしたらわかりやすく英語で伝えることができるのか悩みましたが、メンバーと週に1回ZOOMでミーティングをしながら固めていき、無事に発表をすることができました。日本人の前で英語で発表するというのは緊張しますが、みんな協力しておこなった準備のおかげで、安心して発表することができました。メンバーには感謝です。



Contents	
Topics	Speaker
1. Project Overview	Hiroko Okuda
2. Class	Yuma Ono
3. Pair Work	Yuta Kobayashi
4. Presentation at Symposium	Taiki Yoneyama
5. Saitama Goodwill Ambassador	Hana Suzuki
6. Summary	Hiroko Okuda

OSGSプログラムの振り返り

このプログラムを通して、学んだことが大きく二つあります。一つ目は、失敗することを恐れないということです。これまでオンライン上で英語を使用してコミュニケーションをとる機会は、何回かありました。しかし、毎回私は、失敗することが怖くて、ZOOMではミュートにして息を潜めるばかり。そんな自分を変えたいと思い、少人数の本プログラムに参加しましたが、最初は「わからない」ということに抵抗があり、わかったふりをしてしまっていました。ですが、途中からは発言が求められることも多くなり、誤魔化すこともできなくなりました。それからは、わかったふりはせずに、どんなに簡単なことであってもわからないことは質問するようにしました。このように失敗することを恐れずに、授業に参加できるようになったのは、見守ってくれていたグレッグ先生と参加メンバーのおかげです。このメンバーでこの授業を受けることができ、本当に恵まれていました。二つ目は、英語で発信することはとても楽しいということです。勉強や準備を重ねて、自分の想いや伝えたいことが実際に伝わった時の喜びは、何事にも代え難いです。私は英語が苦手ですが、このプログラムで感じた英語を話す楽しさを忘れずに、これからも勉強を続けたいと思います。このレポートをもって、OSGSプログラムの活動は終わってしまいますが、このプログラムを起点に、これからも英語で発信するということが続けていこうと思います。

これからOSGSプログラムへの参加を考えている方へ。このプログラムはオンラインでありながら、大きく成長できるプログラムです。しかし、その成長の幅は自分のプログラムに取り組む姿勢によって変わってくると思います。このプログラムにこれから参加される方は、ぜひ最初から積極的に参加して、自分の殻を破って大きく成長してください！そして大いに楽しんでください！以上です。これまで本当にありがとうございました。

